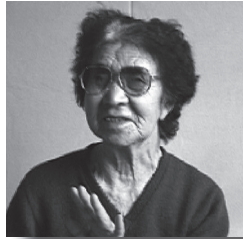


アイヌ民話ライブラリ 2

# 上田トシの民話 2



アイヌ民族博物館

第1話 散文の物語「フクロウを養ったイクレスイエ」<sup>1)</sup>

(イクレスイエが語る)

ユペトウン<sup>2)</sup> イクレスイエ ニシパ<sup>3)</sup>  
 Yupet un Ikuresuye nispa  
 ユペツ の イクレスイエ さん

私はユペツに住むイクレスイエ

アネ ヒネ アナン ペ ネ イケ  
 a=ne hine an=an pe ne\_hike  
 (私)であって 暮らす(私)もの だ が

です。

ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ。  
 nep ka a=esirkirap ka somo ki.  
 何 も (私)苦労し も しない

何も苦労することなく暮らしていました。

ニシパ アネ プ ネ クス  
 nispa a=ne p ne kusu  
 長者 (私)であるもの だ から

私は長者なので

5 アエシリキラプ カ ソモ キ プ ネ コロカ  
 a=esirkirap ka somo ki p ne korka  
 (私)苦労し も しないもの だ けれど

苦労することもなかったのですが

パテク アエシリキラッ ペ  
 patek a=esirkirap pe  
 それだけ (私)苦労するもの

ただひとつ困ったことは

ウコポサカン ペ ネ ワ  
 ukoposak=an pe ne wa  
 互いに子供がない(私達)もの だ から

妻との間に子供がなく

エアラキンネ ポ エイコイトウパアン コロ  
 earkinne po eykoytupa=an kor  
 本当に 子 をうらやましく思う(私) ながら

本当に子供が欲しいと思いながら

オカアン ペ ネ…ネ ヒケ  
 oka=an pe ne...ne hike  
 暮らす(私)もの だ が

暮らしていたのでした。

10 オラ ポ カ アサケ ペ ネ クス  
 ora po ka a=sak pe ne kusu  
 こんど 子 も (私)ないもの だ から

子供がいないので

イナウチパ ネ ヤツカ ネプ ネ ヤツカ  
 inawcipa ne yakka nep ne yakka  
 祭壇 だ も 何 だ も

祭壇でも何でも

1 1995年10月26日、鍋沢キリ氏宅にて収録。この日の調査は北海道立アイヌ民族文化研究センターの大谷洋一氏、アイヌ民族博物館の安田千夏の共同調査として実施された。鍋沢キリ氏も同席している。上田トシさんはこの物語を語った後に「姉(木村キミさん)から聞いた」と語っている。

2 トシさんの口承文芸によく出てくる物語上の地名。良い人たちが住む村というイメージで語られている。

3 これも物語中によく出て来る人名。常に良い行いをし、神を助けまた神に助けられる徳の高い人物として描かれている。ニシパ nispa は「旦那さん」「長者」という意味であるが、「～さん」という尊称で使われることもある。

|    |   |                                 |
|----|---|---------------------------------|
|    | アピリカトムテ。<br>a=pirkatomte. <sup>4</sup><br>(私)きれいにピカピカにする                                  | きれいにして                          |
|    | ヌサ オツ タ ネ ヤツカ<br>nusa or ta ne yakka<br>祭壇 の所 に で も                                       | 祭壇や                             |
|    | ヌサ パラポク ネ ヤツカ<br>nusa parpok ne yakka<br>祭壇 のすぐそば で も                                     | その近くを                           |
| 15 | アケレケリ アチャシヌレ コロ<br>a=kerkeri a=casnure kor<br>(私)掃く (私)きれいに掃除して                           | 掃除して                            |
|    | アナン ペ ネ ア プ<br>an=an pe ne a p <sup>5</sup><br>いる(私) もの だった が                             | いました。                           |
|    | アコロ ヌサ パラポク タ<br>a=kor nusa parpok ta<br>(私)の 祭壇 のすぐそば に                                  | 祭壇の近くに                          |
|    | ピリカ ワ オケレ ポン スンク<br>pirka wa okere pon sunku<br>それはそれは美しい 小さい エゾマツ                        | それはそれは美しい小さいエゾマツ <sup>6</sup> が |
|    | ヘトウク ワ アン ワ オラノ ネ ポン スンク<br>hetuk wa an wa orano ne pon sunku<br>生え て い て こんど その 小さい エゾマツ | 生えていて、その小さいエゾマツを                |
| 20 | アエヤン マ… ペ ネ クス<br>a=eyam wa... pe ne kusu<br>(私)大切に して もの だ から                            | 大切にして…                          |
|    | ピシカニケ アケレケリ アチャシヌレ コロ<br>piskanike a=kerkeri a=casnure kor<br>まわりを (私)掃く (私)掃除し て         | あたりを掃除して                        |
|    | アナン ヒ クス… ネ ヤ<br>an=an hi kusu... ne ya<br>いる(私) だから で も                                  | いました。                           |
|    | エアラキンネ ネ スンク ヘトウク トウナシ ワ<br>earkinne ne sunku hetuk tunas wa<br>本当に その エゾマツ 成長 早く て       | そのエゾマツは成長が早く                    |

4 ピリカトムテ pirka-tom-te (きれいに・光る・させる)で、漆器などを「みがいてつやを出す」という意味でも使われるが、ここでは「祭壇をきれいに掃除する」に近い意味で使われている。

5 日頃から神に対して常に敬意をはらうことで願いが叶うとされる、人としての模範的な心がけを示している。

6 マツ科の常緑樹。かなりの巨木に成長することがあり、口承文芸では空想上の大きな鳥やフクロウ神が営巣する木として描かれたものがある。

- アエイコプンテク コロ アライパ コロ  
a=eyaykopuntek kor a=raraypa kor  
(私)喜び ながら (私)まで ながら  
それがうれしくて、なでさすって
- 25 アナン ペ ネ ア プ  
an=an pe ne a p  
暮らす(私) もの だった が  
いたのです。
- オラ サケ アコロ コロ  
ora sake a=kor kor  
こんど 酒 (私)持つ と  
酒が手に入ると
- ネ スンク サム タ シンナ ソカラン<sup>7</sup>  
ne sunku sam ta sinna sokar=an  
その エゾマツ のそば に 別に 座を作る(私)  
そのエゾマツの近くと
- ヌサ オツ タ シンナ ソカラン ヒネ  
nusa or\_ ta sinna sokar=an hine  
祭壇 の所 に 別に 座を作る(私) して  
祭壇のところに別に座を作って
- ネ ヌサ オツ タ ネ ヤッカ  
ne nusa or\_ ta ne yakka  
その 祭壇 の所 に で も  
そこにも
- 30 トウキ パッチ アウエウンテ<sup>8</sup> ワ アアヌ。  
tuki patci a=ueunte wa a=anu.  
酒椀 鉢 (私)そろえ て (私)置く  
酒椀や鉢を置いておきました。
- ネ スンク サム タ ネ ヤッカ  
ne sunku sam ta ne yakka  
その エゾマツ のそば に で も  
そのエゾマツのそばにも
- シンナ ソカラン ワ  
sinna sokar=an wa  
別に 座を作る(私) して  
別に座を作って
- オロ タ トウキ ネ ヤ サケ ネ ヤ  
oro ta tuki ne ya sake ne ya  
そこ に 酒椀 で も 酒 で も  
そこに酒椀や酒を
- アウエウンテ ワ アアヌ ワ オラ  
a=uweunte wa a=anu wa ora  
(私)そろえ て (私)置い て こんど  
供えて
- 35 アコタヌ ウン オンネクル ウタラ  
a=kotanu un onnekur utar  
(私の)村 の 老人 たち  
私の村の老人たちを
- アシケウツパ ワ  
askeukpa wa  
招待し て  
招待していました。

7 模様入りを含めた上等なござを敷き、供物をならべたり祭主や参列者が座って儀式を執り行うための準備をすることを指している。

8 ここではウエンテ ueunte だが、3行後はウエウンペ uweunte と渡り音が入っている。ウエウンペ uweunpe で「[宝刀など]ひとそろいのもの」[田]なので、この場合は「儀式のときに使う漆器をそろえて」という意味であろう。

- ヌサ オツ タ ネ ヤ  
nusa or\_ ta ne ya  
祭壇 の所 に で も
- 祭壇で
- ネ スンク ネ ヤッカ アノミ  
ne sunku ne yakka a=nomi  
その エゾマツ で も (私)祭る
- そのエゾマツを祭り
- “ スンク カムイ アノミ シリ ネ ”  
“ sunku kamuy a=nomi siri ne ”  
エゾマツ 神 (私)祭る の です
- 「エゾマツの神を祭ります」
- 40 ヤク アイェ コロ  
yak a=ye kor  
と (私)言い ながら
- と言いながら
- イノミアン コロ アナン ワクス… ネ ヤ  
inomi=an kor an=an wakusu... ne ya  
祭りをする(私) ながら いる(私) なので で も
- 儀式をしていたのでした。
- エアラキンネ ネ スンク  
earkinne ne sunku  
本当に その エゾマツ
- 本当にそのエゾマツの
- ヘトウク トウナシヌレ…<sup>9</sup> ルウエ  
hetuk tunasnure... ruwe  
成長 早い こと
- 成長が早いのは
- アオクンヌレ コロ アエヤイコプンテク コロ  
a=okunnure kor a=eyaykopuntek kor  
(私) ひどく驚き ながら (私) 喜び ながら
- 驚きながらも、それを楽しみにして
- 45 アナン ペ ネ ア プ  
an=an pe ne a p  
暮らす(私) もの だっ た が
- 暮らしていました。
- イカ… カ タ ネア スンク ヘトウク ヒネ  
i=ka... ka ta nea sunku hetuk hine  
(私の)上 上 で あの エゾマツ 育っ て
- そのエゾマツが育って
- ポロ スンク ネ ルウエ  
poro sunku ne ruwe  
大きな エゾマツ になる こと
- 大きなエゾマツになったことに
- アオクンヌレ コロ アナン ワ  
a=okunnure kor an=an wa  
(私)ひどく驚き ながら いる(私) して
- 驚きながら
- ポヘネ アエヤイコプンテク ワ  
pohene a=eyaykopuntek wa  
なおさら (私)喜ん で
- なおさら私は喜んで

9 トウナシヌレ tunasnure の形は他に未見。トウナシ ルウエ tunas ruwe 「早いこと」と言おうとしたものか。

- 50 ネ スンク アノミ コロ アナン。<sup>10</sup>  
 ne sunku a=nomi kor an=an.  
 その エゾマツ (私)祭り ながら いる(私)  
 そのエゾマツを祭っていました。
- サケ アコロ コロ ピシノピシノ  
 sake a=kor kor pishinopisno  
 酒 (私)持つ と そのたびに  
 酒が手に入るたびに
- スンク カムイ  
 sunku kamuy  
 エゾマツ 神  
 エゾマツ神を
- アノミ コロ アナン ペ ネ ア プ  
 a=nomi kor an=an pe ne a p  
 (私)祭っ て いる(私) もの だっ た が  
 祭っていたのですが
- オラ アナン アクス ネ スンク カ タ  
 ora an=an akusu ne sunku ka ta  
 こんど いる(私) したところ その エゾマツ の上に  
 そのうちに、そのエゾマツの上に
- 55 カムイチカプ<sup>11</sup> ウワリ シリ ネ ノイネ  
 kamuycikap uwari siri ne noyne  
 フクロウ神 お産をする 様子 である らしく  
 フクロウ神が産卵したらしい
- イキ シリ アヌカラ ワ  
 iki siri a=nukar wa  
 する 様子 (私)見 て  
 様子を見て
- エアラキンネ ポヘネ  
 earkinne pohene  
 本当に なおさら  
 なおさら
- アエヤイコプンテク ワ  
 a=eyaykopuntek wa  
 (私)喜ん で  
 私は喜びました。
- ネ スンク アノミ コロ アナン ラポッケ  
 ne sunku a=nomi kor an=an rapokke  
 その エゾマツ (私)祭り ながら 暮らす(私) うちに  
 そのエゾマツを祭っているうちに
- 60 オラ ネ スンク カ タ ウワリ  
 ora ne sunku ka ta uwari  
 こんど その エゾマツ の上 で お産する  
 やがてそのエゾマツの上で
- カムイチカプ ウワリ プ ネ クス オラ  
 kamuycikap uwari p ne kusu ora  
 フクロウ神 お産をするもの だ から こんど  
 フクロウ神が産卵をしたので

10 実際にはフクロウなどが営巣できるほどエゾマツが巨木になるには数十年かかるところだが、神としての力の強い木なので、不思議な力で早く成長したということだろう。そしてアイヌ文化では巨木の近くに祭壇を設けて村の加護などを祈るという事例が実際に報告されている。

11 カムイチカプ kamuycikap はシマフクロウと訳されることが多いが、地域によってはフクロウのことを指している場合もある。トシさんはシマフクロウについての情報は何も語っていないので、どの鳥を指しているのかは不明である。ここでは総称として「フクロウ神」と訳しておくこととする。

… ペ ネ クス ポン チカプ ウタラ  
 ... pe ne kusu pon cikap utar  
 もの だ から 小さい 鳥 たち

ひな鳥たちが

ウウオハウタプツテ<sup>12</sup> ハウ カ アヌ オラ  
 uwohawtaputte haw ka a=nu ora  
 鳴き騒ぐ 声 も (私)聞く こんど

鳴き騒ぐ声も聞こえるようになりました。

シリクンネイワ コロ ニサツ オロ ヘプ…  
 sirkunneywa kor nisat or hep…  
 朝になる と 夜明け 時

朝になると、明け方から

65 トウナシノ ホプニ… ノ ネ スンク カ ワ  
 tunasno hopuni... no ne sunku ka wa  
 早くに 飛び立っ て その エゾマツ の上 から

飛び立って、そのエゾマツの上から

ピンネ カムイ ネ クニ アラム プ  
 pinne kamuy ne kuni a=ramu p  
 雄の 神 だ と (私)思う もの

雄と思われる鳥が

アトウイ ソ カ ウン<sup>15</sup> アラパ シリ  
 atuy so ka un arpa siri  
 海 面 の上 に 行く 様子

海の方に飛び立つ様子を

アヌカラ コロ アナン。  
 a=nukar kor an=an.  
 (私)見て て いる(私)

見ていました。

オラ イルカ ネ コロ  
 ora iruka ne kor  
 こんど 短い間 する と

そしてしばらくすると

70 スイ ホシピ コロ オラノ ネ スンク カ タ  
 suy hosipi kor orano ne sunku ka ta  
 また 飛び立っ て こんど その エゾマツ の上 で

また戻って来てそのエゾマツの上で

ポン チカプ ウタラ ウウオハウタプツテパ コロ  
 pon cikap utar uwohawtapptepa kor  
 小さい 鳥 たち 鳴き騒ぎ ながら

ひな鳥たちが鳴き騒いで

オカ ハウエ アヌ ワ  
 oka hawe a=nu wa  
 いる 声 (私)聞いて

いる声を聞きました。

エアラキンネ アエヤイコプンテク  
 earkinne a=eyaykopuntek  
 本当に (私)喜ぶ

本当に喜ぶと同時に

アエ… アケムヌ  
 a=e... a=kemnu  
 (私)かわいそうに思う

かわいそうに思い

12 ウウオハウタプツテ uwohawtaputte は他のデータに未見。文意からウハウエポプテ uhawepopte 「みんなで声を出す」[奥]に近い意味と考えた。

13 シマフクロウもフクロウも実際には海に獲物をとりに行くということはない。

- 75 ネ スンク カムイ ネ ヤッカ  
ne sunku kamuy ne yakka  
その エゾマツ 神 で も  
そのエゾマツ神であっても…
- カムイチカプ ネ ヤッカ イルカ ネ コロ  
kamuycikap ne yakka iruka ne kor  
フクロウ神 で も 短い間 し て  
フクロウ神であつてもしばらく
- アトウイ ソ カ ウン アラパ ワ  
atuy so ka un arpa wa  
海 原 の上 に 行っ て  
海の方に行つて
- ネッポ カ エクパ ワ  
neppo ka ekupa wa  
何か も くわえ て  
何かをくわえて
- エク シリ イキ コル… コロ  
ek siri iki kor... kor  
来る 様子 する と  
来ると
- 80 ポン チカプ ウタラ ウウオハウタプツテ  
pon cikap utar uwohawtaputte  
小さい 鳥 たち 鳴き騒ぐ  
ひな鳥たちが鳴き騒ぐので
- オラ スイ ナニ アトウイ エトクン  
ora suy nani atuy etok un  
こんど また すぐに 海 の先 に  
またすぐに海の彼方に
- スイ アラパ シリ アヌカラ。  
suy arpa siri a=nukar.  
また 行く 様子 (私)見た  
行く様子を見ていました。
- エアラキンネ アケムヌ コロ アナン ペ  
earkinne a=kemnu kor an=an pe  
本当に (私)哀れみ ながら いる(私) もの  
本当にかわいそうにと思つて
- ネ ア ヒ クス  
ne a hi kusu  
だつ た ので  
いました。
- 85 オラ ヤイヌアニ オラ  
ora yaynu=an hi ora  
こんど 考える(私) してから  
私は考えて
- ポロ ニマ アコロ ペ ネ ア ヒ クス  
poro nima a=kor pe ne a hi kusu  
大きい 木皿 (私)持つ もの だつ た ので  
大きな木皿を持っていたので
- ネ ニマ アフライエ ア アフライエ ア ヒネ オラ  
ne nima a=huraye a a=huraye a hine ora  
その 木皿 (私)何度も洗つ て こんど  
その木皿をよく洗つて
- エウン ウサ チェプ ネ ヤ ウサ カム ネ ヤ  
eun usa cep ne ya usa kam ne ya  
そこへ 色々 魚 で も 色々 肉 で も  
そこに魚や肉などを



- ポロンノ ネ ニマ オロ アオマレ コロ  
poronno ne nima oro a=omare kor  
たくさん その 木皿 に (私)入れる と  
たくさん入れて
- 90 ネ スンク カ タ…  
ne sunku ka ta…  
あの エゾマツ の上 に  
あのエゾマツの
- スンク チョロポク タ アアナ コロ  
sunku corpok ta a=anu kor  
エゾマツ の下 に (私)置く と  
下に置いて
- イタカン ハウエ エネ アニ。  
itak=an hawe ene an\_hi.  
言う(私) 話 このようなこと  
このように言いました。
- “カムイチカプ ウワリ シリ アヌカラ ワクス  
“kamuycikap uwari siri a=nukar wakusu  
フクロウ神 お産をする 様子 (私)見た ので  
「フクロウ神がお産をしたのを見たのです。」
- カムイチカプ ネプ カ イララ アキ ワ イキ シリ  
kamuycikap nep ka irara a=ki wa iki siri  
フクロウ神よ 何 も いたずら (私)し て する 様子  
フクロウ神よ、何もいたずらをするという
- 95 アキ シリ カ ソモ ネ。<sup>14</sup>  
a=ki siri ka somo ne.  
(私)する様子 も ない  
わけではありません。
- カムイチカプ ウワリ テクサム アエカスイ  
kamuycikap uwari teksam a=ekasuy  
フクロウ神 お産する そば (私)手伝う  
フクロウ神の子育てをお手伝いし
- ウワリ テクサム アエプンキネ クス  
uwari teksam a=epunkine kusu  
お産する そば (私)守る ために  
子育てをそばでお守りするために
- イキアン シリ ネ クス  
iki=an siri ne kusu  
する(私) 様子 だ から  
することなので
- ネプ カ ウエン イララ アキ ワ  
nep ka wen irara a=ki wa  
何 も 悪い いたずら (私)し て  
何もいたずらで
- 100 イキアン シリ カ ソモ ネ ナ”  
iki=an siri ka somo ne na”  
する(私) 様子 も ない よ  
しているのではないのですよ」
- セコロ ハウエアン… イノンノイタカン コロ  
sekor hawean... inonnoitak=an kor  
と 言う 祈り詞を唱える(私) ながら  
と言って祈りました。

14 神に祈るときによく使われる表現で、自分の行為に二心がないことをまず伝えるのは大事なことである。

- ネ ウサ チェプ ウサ オカイ ペ ポロンノ  
ne usa cep usa okay pe poronno  
その 色々 魚 色々 ある もの たくさん  
持っている魚やいろいろなものをたくさん
- ニマ オロ アオマレ ヒネ アアナ コロ  
nima oro a=omare hine a=anu kor  
木皿 に (私)入れ て (私)置く と  
木皿に入れて置いておくと
- シリクンネイワ コロ ネ ニマ オハ ワ アン ヒ  
sirkunneywa kor ne nima oha wa an hi  
朝になる と その 木皿 空になって いる こと  
朝になって空になるのを
- 105 アヌカリ オラノ  
a=nukar hi orano  
(私)見る こと それから  
見てからは
- ポヘネ アエヤイコブンテク ワ  
pohene a=eyaykopuntek wa  
なおさら (私)喜ん で  
なおのこと喜びました。
- ケシト アン コロ  
kesto an kor  
毎日毎日  
毎日
- ネノ ウサ チェプ ネ ヤ ウサ カム ネ ヤ  
nenno usa cep ne ya usa kam ne ya  
同様に 色々な 魚 で も 色々な 肉 で も  
そのように魚や肉などを
- ネ ニマ オロ アフライェ ア アフライェ ヒネ  
ne nima oro a=huraye a a=huraye hine  
その 木皿 を (私)何度も洗って洗っ て  
その木皿をよく洗って
- 110 オロ アオマレ コロ オハ ワ アン シリキ ヒ  
oro a=omare kor oha wa an sirki hi  
そこへ (私)入れる すると 空になっ て いる 様子が見える こと  
そこに入れると空になっているのでした。
- オロワノ アナクネ ネア カムイチカブ  
orowanano anakne nea kamuycikap  
それから は その フクロウ神  
それからはそのフクロウ神が
- ニサツ オロ エホプニ ワ  
nisat oro ehopuni wa  
夜明け に 飛び立っ て  
明け方に飛び立って
- アトウイ トモトウイェ アラパ シリ カ  
atuy tomotuoye arpa siri ka  
海 横切っ て 行く 様子 も  
海を横切って飛んで行く様子を
- アヌカラ カ ソモ キ ヒ アナクネ  
a=nukar ka somo ki hi anakne  
(私)見 も しない ことは  
見ることもないのは
- 115 アコロ ハルコロ ポイ ソン ウタラ  
a=kor harukor pon son utar  
(私)の 餌やり 小さい 子供 たち  
私の餌やりで小さなひなたちに

エレ ワクス  
ere wakusu  
食べさせる ので

食べさせているので

エキムネ シリ カ ソモ ネ  
ekimne siri ka somo ne  
狩りに行く 様子 も ない

狩りに行くこともしないで済む

クニ アラム ワ  
kuni a=ramu wa  
と (私)思っ て

ようだと思いました。

エアラキンネ アエヤイコプンテク コロ  
earkinne a=eyaykopuntek kor  
本当に (私)喜ん で

とても喜んで

120 ネ ポン チカプ ウタラ パロ アオイキ<sup>15</sup> シリ ネ  
ne pon cikap utar paro a=oyki siri ne  
その 小 鳥 たち (私)養う 様子 だ

そのひな鳥たちを養っているようだ

ヤク アイェ コロ  
yak a=ye kor  
と (私)言い ながら

と言いながら

ケシト アン コロ ネノ イキアン コロ  
kesto an kor neno iki=an kor  
毎日毎日 そのように する(私) ながら

毎日そのようにして

アナン ペ ネ ア プ  
an=an pe ne a p  
暮らす(私) もの だった が

暮らしていたのでした。

タネ トウ チュプ カ レ チュプ カ ネ クニ  
tane tu cup ka re cup ka ne kuni  
もう 2 月 も 3 月 も になると

もう2、3か月

125 アラム パクノ ネノ イキアニ  
a=ramu pakno neno iki=an\_hi  
(私)思う ほど そのように する(私) こと

そのようにしていて

オラノ ネ スンク カ タ オカ ワ  
orano ne sunku ka ta oka wa  
こんど あの エゾマツ の上 に い て

あのエゾマツの上にいる

ポン チカプ ウタラ カ  
pon cikap utar ka  
小 鳥 たち も

ひな鳥たちも

タネ ルプネパ ワ ネ ノイネ  
tane rupnepa wane noyne  
もう 大きくなっ て になる らしく

もう大きくなったようでした。

15 パロオイキ paro oyki は、この例のようにパロ アオイキ paro a=oyki のように人稱をつけることも、またエンパラ エオイキ en=par e=oyki 「私をあなたが養う」のように前半と後半で違う人稱をつけることも可能。

- レウパ シリ カ  
rewpa siri ka  
とまる 様子 も
- とまっている様子も、
- 130 スンク カ ワ… アフプテ<sup>16</sup> カ  
sunku ka wa... ahupte ka  
エゾマツ の上 から 入れる も
- エゾマツの上を通すのも
- レウパ シリ カ アヌカラ コロ アナン ワ  
rewpa siri ka a=nukar kor an=an wa  
とまる 様子 も (私)見 て いる(私) して
- とまる様子も見ていました。
- ポヘネ アエヤイコプンテク コロ  
pohene a=eyaykopuntek kor  
なおさら (私)喜び ながら
- なおのこと私は喜んで
- アナン ペ ネ ア プ  
an=an pe ne a p  
いる(私) もの だった が
- いたのですが
- シネ アンチカラ  
sine ancikar  
ある 晩
- ある晩
- 135 ウェンタラパン ルウエ ネ アクス  
wentarap=an ruwe ne akusu  
夢を見る(私) こと だっ たところ
- 夢を見たところ
- アコロ アペエトク タ  
a=kor apeetok ta  
(私)の 横座 に
- 私の家の横座に
- クンネ コソンテ<sup>17</sup> ウトムチウレ  
kunne kosonte utomciwre  
黒い 上等な着物 を身につける
- 黒い着物を身につけた
- カムイ ネ クス コラチ アン クル  
kamuy ne kusu koraci an kur  
神 な ので らしく ある 男性
- 神々しい姿をした男性が
- シロカネ タンパクオプ  
sirokane tanpakuop  
銀の たばこ入れ
- 銀のたばこ入れ
- 140 シロカネ キセリ ウコアニ カネ ヒネ アン ヒネ  
sirokane kiseri ukoani kane hine an hine  
銀の キセル を一緒に持ち も して い て
- 銀のキセルをひとそろい持っていて
- エネ ハウエアニ。  
ene hawean \_hi.  
このように言った
- このように言いました。

16 スンク アフプテ sunku ahupte と言い直しているか。

17 神の衣装はその神を思わせる色の衣装を着ていることがあるが、特に実際の色とは関係なく偉い神は黒い着物を着ているという表現がしばしば見られる。これもその例である。

“タン イクレスイエ ニシパ  
 “tan Ikuresuye nispa  
 これ イクレスイエ さん

「これイクレスイエさん。

アイヌ ヘタプ エネ ワ  
 aynu hetap e=ne wa  
 人間 でも (お前)であって

あなたは人間のようですが

アエコヤイライケ ワ  
 a=e=koyayrayke wa  
 (私がお前に)感謝し て

感謝の

145 エネ アイェ ヒ カ イサム ノ  
 ene a=ye hi ka isam no  
 どう (私)言う ことも なく て

言葉もないくらいに

アエコヤイライケ カトウ アナク エネ アニ。  
 a=e=koyayrayke katu anak ene an\_hi.  
 (私がお前に)感謝する わけ は こうです

お礼を申し上げるのはこのようなことです。

エコロ ピリカ ケウトウム エコロ ペ ネ クス  
 e=kor pirka kewtum e=kor pe ne kusu  
 (お前の) 美しい 心 (お前)持つもの だ から

あなたは美しい心を持っているので

アコロ ソン ウタラ  
 a=kor son utar  
 (私)の 息子 たち

私の息子たちを

アルプネレ ヒ イエカスイ ワ  
 a=rupnere hi i=ekasuy wa  
 (私)育てる こと (私を)手伝っ て

大きくするのを手伝ってくれました。

150 アコロ ソン ウタラ ルプネパ ワ  
 a=kor son utar rupnepa wa  
 (私)の 息子 たち 大きくなっ て

私の子供たちは大きくなったので

エアラキンネ アエコヤイライケ ヒ  
 earkinne a=e=koyayrayke hi  
 本当に (私がお前に)感謝する こと

お礼の言葉もありません。

オラ マカナク イキアン ワ  
 ora makanak iki=an wa  
 こんど どのように する(私) して

どうやって

アエコヤヤッタサ アン<sup>18</sup> クニ カ  
 a=e=koyayattasa an kuni ka  
 (私がお前に)返礼する ある べきか も

お返しをしていいか

アエランペウテク パクノ  
 a=erampewtek pakno  
 (私)わからない くらいに

わからないくらいに

18 ここに an がある理由は不明。

- 155 アエコヤイライケ ルウエ ネ クス  
 a=e=koyayrayke ruwe ne kusu  
 (私がお前に)感謝する の だ から  
 感謝をしているのです。
- ニサッタ ネ アナクネ  
 nisatta ne anakne  
 翌日 になれば  
 明日になったら
- タン カネ チヨリ エコロ ワ  
 tan kane cori e=kor wa  
 この 金の ぞうり (お前)持って  
 この金のぞうりを持って
- アトウイ サム タ エアラパ ワ エウシ  
 atuy sam ta e=arpa wa e=us  
 海 のそば に (お前)行っ て (お前)履く  
 海の近くに行ってお履きなさい。
- ヤカナクネ<sup>19</sup>  
 yakanakne  
 もしもすれば  
 そうしたならば
- 160 アトウイ カ ペカ ニシテ ソ ネ アン ワ  
 atuy ka peka niste so ne an wa  
 海 上 一帯 固い 床 に なっ て  
 海面が固い床のようになります。
- タン カネ チヨリ エウシ カネ ワ  
 tan kane cori e=us kane wa  
 この 金 ぞうり (お前)履き も して  
 この金のぞうりを履いて
- アトウイ トウラシ エアラパ ワ ネ ヤクン  
 atuy turasi e=arpa wa ne yakun  
 海 を遡って (お前)行っ て である ならば  
 海を渡って行ったならば
- アトウイ エトク タ ポロ ナイ アン イネ  
 atuy etok ta poro nay an \_hine  
 海 の先 に 大きい 川 あっ て  
 海の向こうに大きな川があります。
- ネ ナイ アトウイ オルン  
 ne nay atuy or un  
 その 川 海 の所 に  
 その川が海に
- 165 サン コロ アン ルウエ ネ クス  
 san kor an ruwe ne kusu  
 出 て いる の だ から  
 流れ込んでいるので
- ネ ナイ トウラシ エアラパ ワ ネ ヤクン  
 ne nay turasi e=arpa wa ne yakun  
 その 川 を遡って (お前)行っ て である ならば  
 その川をさかのぼって行ったならば
- シロカネ タク コンカネ タク ナイ アラケ  
 sirokane tak konkane tak nay arke  
 銀の 塊 金の 塊 川 の片側  
 銀の塊、金の塊が川岸で

19 静内方言アカナクネ akanakne [奥]「もしも〜すれば」、沙流地方ではヤカナクネ yakanakne と言う。

ウコミケミケ コロ オカ クス  
 ukomikemike kor oka kusu  
 互いにピカピカ光っ て いる ので

光っているの

ネ シロカネ タク コンカネ タク  
 ne sirokane tak konkane tak  
 その 銀の 塊 金の 塊

その銀の塊、金の塊を

170 エウク ワ エエク ワ ネ ヤクン  
 e=uk wa e=ek wa ne yakun  
 (お前)取って (お前)来 て であれ ば

取って来なさい。そうすれば

ネ タク エコロ ワ エアン ヤカナクネ  
 ne tak e=kor wa e=an yakanakne  
 その 塊 (お前)持って (お前)暮らし たら

その塊を持っていたならば

オンネ パクノ  
 onne pakno  
 年を取る まで

年を取るまで

ネン… ネプ カ エエシリキラプ カ ソモ キ ノ  
 nen... nep ka e=esirkirap ka somo ki no  
 何 も (お前)苦労し も しない で

何も苦労することなく

エアン クス ネ …  
 e=an kusu ne…  
 (お前)暮らす ことになっている

暮らせるのです。

175 ネノ ヘネ イキアン ソモ キ ヤカナクネ  
 neno hene iki=an somo ki yakanakne  
 そう でも し(私) ない なら

そうでもしなければ

アエコヤヤッタサ クニ カ  
 a=e=koyayattasa kuni ka  
 (私がお前に)返礼をする べき も

あなたにお返しの上も

アエランペウテク パクノ  
 a=erampewtek pakno  
 (私)わからない ほど

ないと

アエコヤヤッタサ クス ネ ナ”  
 a=e=koyayattasa kusu ne na”  
 (私がお前に)返礼を します よ

思っているのです」

セコロ ハウエアン ネ ヤ  
 sekor hawean ne ya  
 と 言う で も

と

180 カムイ ネ クス コラチ アン クル  
 kamuy ne kusu koraci an kur  
 神 だ から そのように ある 男性

神々しい姿をした男性が

ハウエアン ヤク アタカラ ヒネ  
 hawean yak a=takar hine  
 言う と (私)夢に見 て

言う夢を見て

- エアラキンネ アエヤイコブンク コロ  
earkinne a=eyaykopunk kor  
本当に (私)喜び ながら  
本当に喜んで
- モサン ルウエ ネ アクス  
mos=an ruwe ne akusu  
目覚める(私) の だっ たところ  
目が覚めました。
- ウエンタラプ ネ クナク アラム ア プ  
wentarap ne kunak a=ramu a p  
夢 だ と (私)思っ た のに  
すると夢だと思っていたのだけれど
- 185 イサム タ ネ カネ チヨリ アン ルウエ ネ イネ  
i=sam ta ne kane cori an ruwe ne \_hine  
(私)のそばに その 金の ぞうり ある の であって  
私のそばにその金のぞうりがありました。
- アコオンカミ ア オンカミアナ アナ コロ  
a=koonkami a onkami=an a an a kor  
(私)拝礼を何度も 何度も 何度もし ながら  
私は何度も拝礼をして
- アウク イネ  
a=uk \_hine  
(私)受け取っ て  
受け取り
- オラ ニサッタ クンネイワ ソンノカ  
ora nisatta kunneywa sonnoka  
こんど 翌日 朝 本当に  
翌朝、本当に
- アコロ ワ アトウイ サム タ アラパアン ヒネ  
a=kor wa atuy sam ta arpa=an hine  
(私)持っ て 海 のそばに 行く(私) して  
それを持って海辺に行きました。
- 190 アウシ アクス  
a=us akusu  
(私)履い たところ  
私が履くと
- カムイ イエ ア ヒ コラチ  
kamuy ye a hi koraci  
神 言っ た ことのように  
神が言った通りに
- オウセ テレケアン ヒネ  
owse terke=an hine  
空中へ 飛ぶ(私) して  
空中に飛び上がり
- アトウイ ソ カ テレケアン ヒネ  
atuy so ka terke=an hine  
海 面 の上 跳ねる(私) して  
海面を跳ねて
- オウセ ホプニアン ヒネ アラパアン ヒネ  
owse hopuni=an hine arpa=an hine  
空中へ 飛ぶ(私) して 行く(私) して  
空中を飛んで行きました。
- 195 アトウイ エトク タ アラパアン ルウエ ネ アクス  
atuy etok ta arpa=an ruwe ne akusu  
海 の先 に 行く(私) こと だっ たところ  
海を越えて行ったところ



ソノカ アトウイ オルン ナイ ピリカ ナイ  
 sonnoka atuy or un nay pirka nay  
 本当に 海 の所 に 川 きれいな 川

本当に、海にきれいな川が

サン コロ アン ヒ クス  
 san kor an hi kusu  
 流れ下って いる ので

流れ込んでいたので

ネ ナイ プトウ ワ  
 ne nay putu wa  
 その 川 河口 から

その川の河口から

ナイトウラシアン ルウエ ネ アクス  
 naytulasi=an ruwe ne akusu  
 川をさかのぼる(私) こと だっ たところ

さかのぼって行ったところ

200 ナイ アラケヘ コンカネ タク  
 nay arkehe konkane tak  
 川 の片側 金の 塊

川の片側の岸に金の塊が

ネ ナイ アラケヘ シロカネ タク  
 ne nay arkehe sirokane tak  
 その 川 の片側 銀の 塊

反対の片側の岸に銀の塊が

ウコミケミケ コロ オカ。  
 ukomikemike kor oka.  
 互いにピカピカ光り ながら ある

輝いていました。

オロ タ アラパアン ヒネ オラノ  
 oro ta arpa=an hine orano  
 そこ に 行く(私) して こんど

そこに行って

オンカミアナ アナ  
 onkami=an a an a  
 何度も拝礼した(私)

何度も拝礼をして

205 シロカネ タク エウン カ シンナ オンカミアン。  
 sirokane tak eun ka sinna onkami=an.  
 銀の 塊 に も 別に 拝礼をする(私)

銀の塊に拝礼をしました。

コンカニ タク エウン カ  
 konkani tak eun ka  
 金の 塊 に も

金の塊にも

オンカミアナ アナ コロ  
 onkami=an a an a kor  
 何度も拝礼する(私) ながら

何度も拝礼をして

オラ カムイ イェ ワ アヌ プ ネ クス  
 ora kamuy ye wa a=nu p ne kusu  
 こんど 神 言っ て (私)聞く ものだ から

神が言うのを聞いていたので

シロカネ タク シネプ コンカネ タク シネプ  
 sirokane tak sinep konkane tak sinep  
 銀の 塊 ひとつ 金の 塊 ひとつ

銀の塊をひとつ、金の塊をひとつ

- 210 アウク ヒネ アウプソロ オマレ ヒネ  
a=uk hine a=upsor omare hine  
(私)取っ て (私の)ふところ に入れ て  
取って懐に入れました。
- オラ スイ ホシピアン イケ カ  
ora suy hosipi=an \_hike ka  
こんど また 戻る(私) して も  
そしてまた帰る時も
- ネ チヨリ アウシ ペ ネ クス  
ne cori a=us pe ne kusu  
あの ぞうり (私)履く もの だ から  
あのぞうりを履いたので
- ネプ カ アエラナク カ ソモ キ ノ エカニネ  
nep ka a=eranak ka somo ki no ek=an \_hine  
何 も (私)困り も しない で 来る(私) して  
何の苦勞もなく
- アウニ タ エカン ルウェ ネ ヒネ  
a=uni ta ek=an ruwe ne hine  
(私の)家 に 来る(私) こと であっ て  
家に帰って来ました。
- 215 オラ ナニ オッチケ オロ ネ カネ チヨリ  
ora nani otcike oro ne kane cori  
こんど すぐ 盆 に その 金の ぞうり  
そしてすぐ盆にあの金のぞうり
- シロカネ タク コンカネ タク  
sirokane tak konkane tak  
銀の 塊 金の 塊  
銀の塊、金の塊を
- カネ チヨリ ウン アオマレ ヒネ  
kane cori un a=omare hine  
金の ぞうり に (私)入れ て  
金のぞうりに入れて
- アコロ ロルンプヤラ オシソ ワ<sup>20</sup> アアヌ ヒネ  
a=kor rorunpuyar osiso wa a=anu hine  
(私の)の 神窓 右座 から (私)置い て  
私の家の神窓に右座側から置いて
- アコオンカミ アコオンカミ… アン<sup>21</sup> ヒネ  
a=koonkami a=koonkami... an hine  
(私)拝礼する (私)拝礼する して  
何度も拝礼をして
- 220 アナン ワ エアラキンネ ヤイライケアン ヒ  
an=an wa earkinne yayrayke=an hi  
いる(私) して 本当に 感謝する(私) こと  
感謝の言葉を
- アイエ ア アイエ ア コロ  
a=ye a a=ye a kor  
(私)何度も言い ながら  
何度も述べて
- アナン ルウェ ネ アクス  
an=an ruwe ne akusu  
いる(私) こと だっ たところ  
いて

20 上座から家の入り口側を見た場合、右側の座は家の主人の席である。イクレスイェはこの家の主人なので、神窓に供えものをするには必然的に右座側からという表現になる。

21 ここにアン an がある意味は不明。

スイ ホツケアン …クス  
suy hotke=an kusu  
また 眠る(私) ので

また眠りにつきました。

ネア エアンチカリ スイ  
nea eancikari suy  
その夜 また

するとその夜また

225 ウェンタラパン ルウエ ネ アクス  
wentarap=an ruwe ne akusu  
夢を見る(私) こと だっ たところ

夢を見ました。

ウクラン ネ アヌカラ ア カムイ  
ukuran ne a=nukar a kamuy  
ゆうべ に (私)見 た 神

昨夜夢に見た神が

スイ クンネ コソソテ  
suy kunne kosonte  
また 黒い 上等な着物

また黒い着物を

ウトムチウレ カネ アン イネ  
utomciwre kane an \_hine  
を身につけ て い て

身につけて

アコル… アペエトク タ アン イネ  
a=kor... apeetok ta an \_hine  
(私)の 横座 に い て

私の家の横座に座っていて

230 シロカネ キセリ シロカネ タンパクオブ  
sirokane kiseri sirokane tanpakuop  
銀の キセル 銀の たばこ入れ

銀のキセル、銀のたばこ入れを

ウコアニ カネ… アニ ヒネ  
ukoani kane ani hine  
を一緒に持つ て 持つ て

ひとそろい持って

ネ… スイ エネ ハウエアニ。  
ne... suy ene hawean \_hi.  
その また このように言う

このように言いました。

“ソノノ イスレスイエ  
“sonno isuresuye  
本当に イクレスイエ

「本当にイクレスイエよ、

アエコヤヤッタサ ヒ カ  
a=e=koyayattasa hi ka  
(私がお前に)返礼をする こと も

お返しをするにも

235 エネ ネ ヒ カ イサム クス タネ… コロカ  
ene ne hi ka isam kusu tane... korka  
どんな 方法 も ない ので もう けれど

どうしていいかわからないけれど

ニサッタ ネ  
nisatta ne  
明日 になる

明日になったら

タネ アコロ ソン ウタラ カ タネ ポロ ワ  
 tane a=kor son utar ka tane poro wa  
 もう (私)の 息子 たち も もう 大きくなって

もう私の子供たちも大きくなったので

カムイ オルン リキナン エトコ ネ  
 kamuy or un rikin=an etoko ne  
 神 の所 に 昇天する(私) 前 である

神の国に帰るつもりです。

タネ トウ チュプ カ レ チュプ カ  
 tane tu cup ka re cup ka  
 もう 2 月 も 3 月 も

2、3か月

240 エアン クシケライポ  
 e=an kuskerayo  
 (お前)いた おかげで

あなたがいてくれたおかげで

アコロ ソン ウタラ イカスイ イパロ…  
 a=kor son utar ikasuy iparo…  
 (私)の 息子 たち 手伝う

私の子育てを手伝って

イエカスイ ワ アコロ ソン ウタラ パロオイキ ワ  
 i=ekasuy wa a=kor son utar parooyki wa  
 (私を)手伝っ て (私)の 息子 たち を養っ て

私の子供たちを養って

イコレ ワ ヤイライケアン ワ  
 i=kore wa yayrayke=an wa  
 (私に)くれ て 感謝する(私) して

くれて感謝します。

ネイ タ パクノ アナン カ エアイカプ ワ  
 ney ta pakno an=an ka eaykap wa  
 いつ までも 暮らす(私) も できない で

いつまでもいることができないので

245 タネ ニサッタ ネ  
 tane nisatta ne  
 もう 翌日 に

もう明日になったら

カムイ オルン リキナン エトコホ ネ クス  
 kamuy or un rikin=an etokoho ne kusu  
 神 の所 に 昇天する(私) その前 だ から

神の国に昇天するので

オラ アエコヤヤッタサ クス アコロ ソン ウタラ  
 ora a=e=koyayattasa kusu a=kor son utar  
 こんど (私がお前に)返礼する ために (私)の 息子 たち

お返しをするために私の子供たちを

アイヌ ネ アカラ ワ  
 aynu ne a=kar wa  
 人間 に (私)し て

人間にして

シネ ポ シネ マツカチ  
 sine po sine matkaci  
 ひとり 男の子 ひとり 女の子

ひとりの子は男の子、ひとりの子は女の子、

250 アイヌ ネ アカラ ワ アイコホツパ クス ネ  
 aynu ne a=kar wa a=ikohoppa kusu ne  
 人間 に (私)し て (私)置いて行き ます

人間にして置いていくつもりです。

クス エレス ワ ネ ヤクン  
 kusu e=resu wa ne yakun  
 なので (お前)育てて である ならば

なのであなたが育てて

オラ ポロ ヤクン  
 ora poro yakun  
 こんど 大きくなった ならば

大きくなったならば

チカプ ネ クス チカプ サニ ネ クス  
 cikap ne kusu cikap sani ne kusu  
 鳥 だ から 鳥 の子孫 だ から

鳥の子孫なので

ウオヤク タ エホツケレ カ ソモ キ ノ  
 uoyak ta e=hotkere ka somoki no  
 別 に (お前)寝かせる も しない で

別に寝かせることをせず

255 シネ セトツ タ エホツケレ。  
 sine set or\_ ta e=hotkere.  
 ひとつ 寝床 の所 に (お前)寝かせる

ひとつの寝床で寝かせなさい。

チカ…チカプ ネ クス エホツケレ ワ ネ ヤクン  
 cika... cikap ne kusu e=hotkere wa ne yakun  
 鳥 だ から (お前)寝かせ て である ならば

そうすれば

ナニ ウムレクパ オハ オカ ワ  
 nani umurekpa oha oka wa  
 すぐ 夫婦になる 同じ いる して

すぐに夫婦になり

ウムレクネパ<sup>(22)</sup> ヤクン  
 umureknepa yakun  
 夫婦になる ならば

やがて

オラ ナニ ポ カ コロパ…  
 ora nani po ka korpa…  
 そして すぐ 子供も 持つ

すぐ子供ができます。

260 オラ エアシリ  
 ora easir  
 そして はじめて

そうして初めて

エチヤイコトウヤシ<sup>(23)</sup> パクノ エチイヨマブ  
 eci=yaykotuyas pakno eci=iyomap  
 (お前たち)気が済む まで (お前たち)かわいがる

あなたたちは得心がいくまでかわいがって

ナンコン ナ”  
 nankor\_ na”  
 しなさい よ

ください」

セコロ ネア カムイ ネ クス コラチ アン クル  
 sekor nea kamuy ne kusu koraci an kur  
 と その 神 だ から そのように ある 人

と、あの神々しい姿をした人が

22 実際には鳥であっても兄弟同士でつがいになるということはないが、他の生物に比べて個体識別がしにくいという点がこうしたエピソードが生まれた背景になっているとも考えられる。

23 ヤイコトウヤシ yaykotuyasi ~で自分は安心だ [田]。yaykotuyash 自分に同情する、可愛想に思ふ、本懐に思ふ [久]。

- ハウエアン ヤク アタカラ イネ  
haweana yak a=takar hine  
言う と (私)夢を見 て  
言った夢を見ました。
- 265 ニサッタ ネ リキナン セコロ ハウエアン ヒ  
nisatta ne rikin=an sekor haweana hi  
翌日 に 昇天する(私) と 言う こと  
翌朝になったら天に帰ると言っていたことは
- ウェンタラプ ネ クナク アラム  
wentarap ne kunak a=ramu  
夢 だ と (私)思う  
夢だと思った
- オツ タ オンカミ モサニ  
or\_ ta onkami mos=an \_hi  
そこ で 拝礼する 目覚める(私) こと  
ところで拝礼して目が覚めました。
- オラノ オンカミアナ アナ コロ アナン。  
orano onkami=an a ana kor an=an.  
そして 何度も拝礼する(私) ながら いる(私)  
そして何度も拝礼をしました。
- ニサッタ クンネイワ オラ スイ  
nisatta kunneywa ora suy  
翌日 朝 こんど また  
翌朝また
- 270 トウナシノ ホプニアン ルウェ ネ アクス  
tunasno hopuni=an ruwe ne akusu  
早くに 起きる(私) こと だっ たところ  
早く起きたところ
- ネプ カ アパオッキ  
nep ka apaotki  
何 か 戸口のすだれが  
何か戸口のすだれが
- モイモイケ ペコロ ネ イ クス  
moymoyke pekor ne \_hi kusu  
動く かのよう な ので  
動いたようなので
- インカラン ルウェ ネ アクス  
inkar=an ruwe ne akusu  
見る(私) こと だっ たところ  
見ると
- ポン ヘカチ ポン マツカチ  
pon hekaci pon matkaci  
小さい 男の子 小さい 女の子  
小さい男の子と女の子が
- 275 アパ オツ タ ウコヘムヘム<sup>24</sup> コロ オカ。  
apa or\_ ta ukohehему kor oka.  
戸口 の所 で ふたりでうなずい て いる  
戸口のところでふたりでうなずいていました。
- カムイ イェ ワ アヌ ア プ セコロ ヤイヌアン ワ  
kamuy ye wa a=nu a p sekor yaynu=an wa  
神 言っ て (私)聞いた ものと 思う(私) して  
神が言うのを聞いていたからと思って

24 ヘム hem は相づちを打つときに発する言葉で、ここではヘム hemu と母音がついているが、文脈を考えると神が言っていたことについて「自分たちがそうなんだ」とうなずいて知らせたという意味だと解釈した。

- アマチヒ トウラノ マッコサヌアニネ  
a=macihi turano matkosanu=an hine  
(私の妻) と一緒に ぱっと動く(私) して  
妻と一緒にぱっと動いて
- ウサ ウサ ネ ポン ヘカチ ポン マツカチ  
usa usa ne pon hekaci pon matkaci  
いろいろな その 小さい 男の子 小さい 女の子  
その小さい男の子、女の子を
- アウコライエ ヒネ  
a=ukoraye hine  
(私)抱え て  
抱えて
- 280 オラノ アエヤイコプンテク ワ オラノ  
orano a=eyaykopuntek wa orano  
それから (私)喜ん で こんど  
喜んで
- アルイルイパ コロ アチョクヌレ コロ オカアン。  
a=ruyruypa kor a=coknure kor oka=an.  
(私)なでさすり ながら (私)キスをし ながら 暮らす(私)  
なでさすってキスをして暮らしました。
- アマチヒ トウラノ エネ アカリ…  
a=macihi turano ene a=kar \_hi…  
(私の妻) と一緒に そう (私)する  
妻と
- ヤイコトウヤシアン クニ カ アエランペウテク ノ  
yaykotuyasi=an kuni ka a=erampewtek no  
自分で満足する(私) こと も (私)わからない で  
満ち足りて
- アオマプ ア アオマプ ア コロ  
a=omap a a=omap a kor  
(私)何度もかわいがり ながら  
かわいがりながら
- 285 オカアン ルウエ ネ… アネ イネ  
oka=an ruwe ne… a=ne \_hine  
暮らす(私) こと (私)であっ て  
暮らしました。
- ソンノカ カムイ イェ ワ アヌ プ ネ クス  
sonnoka kamuy ye wa a=nu p ne kusu  
本当に 神 言っ て (私)聞く ものだ から  
本当に神様から聞いていた通り
- ルプネパ トウナシ オラノ アカイ カネ オカアン  
rupnepa tunas orano a=kay kane oka=an  
大きくなる 早い そして (私)背負っ て 暮らす(私)  
育つのが早く、おぶったり
- テケ アアニ カネ ワ  
teke a=ani kane wa  
手 (私)持ち も して  
手をつないで
- コタン ケスン コタン パ ウン  
kotan kes un kotan pa un  
村 しも に 村 かみ に  
村の下端から上端まで
- 290 アプカサン イネ ヤイコトウヤシアン コロ アナン。  
apkas=an \_hine yaykotuyasi=an kor an=an.  
歩く(私) して 自分は安心だ(私) ながら 暮らす(私)  
歩いて、満ち足りて暮らしました。

アマチヒ ネ ヤッカ ウサ パッカヤン  
 a=macihi ne yakka usa pakkay=an  
 (私の妻) で も 色々 背負う(人)

妻もおぶったり

ウサ アコロ ソン ウタラ テケ アアニ コロ  
 usa a=kor son utar teke a=ani kor  
 色々 (私)の 息子 たち の手 (私)持ち ながら

手をつないで

オカアン ラポッケ  
 oka=an rapokke  
 暮らす(私) そのうちに

暮らしていました。

カムイ イェ ワ アヌ ア プ  
 kamuy ye wa a=nu a p  
 神 言っ て (私)聞いた が

神様が言っていたなあ

295 セコロ ヤイヌアン ペ ネ クス  
 sekor yaynu=an pe ne kusu  
 と 思う(私) もの な ので

と思ったので

タネ ポロパ ヒ オラ  
 tane poropa hi ora  
 もう 大きくなる とき こんど

もう大きくなってからは

ナニ セツ アカラ ヒネ  
 nani set a=kar hine  
 すぐに 寝床 (私)作っ て

すぐに寝床を作って

オロ タ ウオヤク セツ アカラ ソモ キ ノ  
 oro ta uoyak set a=kar somoki no  
 そこ に 別に 寝床 (私)作ら ず に

そこで別に寝床を作らずに

シネ セツ オツ タ アホツケレパ クニネ  
 sine set or\_ ta a=hotkerepa kunine  
 ひとつ 寝床 の所 に (私)寝かせる ように

ひとつの寝床で寝かせるように

300 アカラ コロ アナン ラポッケ オラ ナニ  
 a=kar kor an=an rapokke ora nani  
 (私)し ながら いる(私) うちに こんど すぐに

しました。

ネア アコロ マツカチ ヘカチ ネ ア コロカ  
 nea a=kor matkaci hekaci ne a korka  
 その (私)の 女の子 男の子 だっ た けれど

その娘と息子が

タネ ポン マツカチ ポン ヘカチ ネ ヒ オラノ  
 tane pon matkaci pon hekaci ne hi orano  
 もう 小さい 女の子 小さい 男の子 になる 時 から

もう大きくなってからは

シネ セツ オツ タ アアヌパ プ ネ クス  
 sine set or\_ ta a=anupa p ne kusu  
 ひとつ 寝床 の所 に (私)置く もの だ から

ひとつの寝床に置いたので

ナニ ネア アコロ マツカチ ネ ア コロカ  
 nani nea a=kor matkaci ne a korka  
 すぐに その (私)の 女の子 だっ た けれど

私の娘には



- 305 チカプ サニ ネ クス  
cikap sani ne kusu  
鳥 の子孫 な ので  
鳥の子孫なので
- ナニ ポコン ルウェ ネ… ポコロ ワ  
nani pokor\_ ruwe ne... pokor wa  
すぐに 子を持つ こと である 子を持つ て  
すぐ子供ができて
- オラノ アエヤイコプンテク。  
orano a=eyaykopuntek.  
そして (私)喜ぶ  
喜びました。
- カムイ イェ ワ アヌ プ ネ クス  
kamuy ye wa a=nu p ne kusu  
神 言っ て (私)聞く ものだ から  
神様から聞いていたので
- アエヤイコプンテク コロ  
a=eyaykopuntek kor  
(私)喜び ながら  
喜んで
- 310 オラノ アエチヨクヌレ コロ オカアン  
orano a=ecoknure kor oka=an  
そして (私)キスをし ながら 暮らす(私)  
キスをして暮らしました。
- オラ カムイ イェ ワ アヌ プ ネ クス  
ora kamuy ye wa a=nu p ne kusu  
そして 神 言っ て (私)聞く ものだ から  
そして神様が言う通り
- サケ<sup>25</sup> コロ ヤクン  
sake kor yakun  
酒 を持つ ならば  
酒が手に入ると
- “ リクンカント ウン カムイ  
“ rikunkanto un kamuy  
天の国 にいる 神  
『天にいる神
- スンク カムイ エカシ アノミ ナ’  
sunku kamuy ekasi a=nomi na  
エゾマツ 神 おじいさん (私)祭る よ  
エゾマツ神のおじいさんを祭ります』
- 315 セコロ エハウエアン コロ  
sekor e=hawean kor  
と (お前)言い ながら  
と言って
- イノミ ワ イコレ ヤク ピリカ ナ”  
i=nomi wa i=kore yak pirka na”  
(私を)祭っ て (私に)くれ たら いい よ  
祭ってくれるといい』
- セコロ カ イェ プ ネ ア イ クス  
sekor ka ye p ne a \_hi kusu  
と も 言う もの だった ので  
とも言っていたので

25 儀式のとき神に祈るのには酒を欠かすことはできず、また神が最も喜ぶ供物のひとつとされているので、自分の家で酒を醸したときやもらったときなどを含めて、手に入るとまず神に捧げて祈るというのが日常においても通例である。

- ナニ サケカラン ワ  
nani sakekar=an wa  
すぐに 酒をつくる(私) して  
すぐに酒をつくって
- “カムイ オルン リクンカント ウン  
“kamuy or un rikunkanto un  
神 の所 に 天の国 にいる  
「神のところに、天にいる
- 320 カムイ エカシ カムイチカプ アノミ ナ”  
kamuy ekasi kamuycikap a=nomi na”  
神 おじいさん フクロウ神 (私)祭る よ  
神のおじいさん、フクロウ神に祈ります」
- セコロ ハウエアナン コロ  
sekor hawean=an kor  
と 言う(私) ながら  
と言って
- イチャラパアン<sup>26</sup> カ カムイノミアン カ キ コロ  
icarpa=an ka kamuynomi=an ka ki kor  
供物をまく(私) も 神へ祈る(私) も し ながら  
先祖供養や祈りの儀式をして
- アナン ラポッケ  
an=an rapokke  
暮らす(私) うちに  
いました。そのうちに
- ネ… ナニ ネア…  
ne… nani nea…  
あの すぐに あの  
すぐにあの
- 325 アレス ワ アン マツネポ ポ カ コロ ワ  
a=resu wa an matnepo po ka kor wa  
(私)育て て いる 女の子 子 も 持っ て  
育てていた娘に子供ができたので
- ポヘネ アエヤイコプンテク コロ アエチヨクヌレ  
pohene a=eyaykopuntek kor a=ecoknure  
なおさら (私)喜び ながら (私)キスをする  
なおのこと喜んで、キスをしました。
- オラ チカプ サニ ネ クス  
ora cikap sani ne kusu  
そして 鳥 の子孫 だ から  
そして鳥の子孫なので
- ウカンウカン<sup>27</sup> ポコロ ワ  
ukan'ukan pokor wa  
次々に 子を持っ て  
次々に子供ができて
- ポ ヤイコトウヤシアン コロ アオマフ  
po yaykotuyasi=an kor a=omap  
なお 自分は安心だ(私) ながら (私)かわいがる  
満ち足りてかわいがりながら
- 330 アカイ カネ オカアン。  
a=kay kane oka=an.  
(私)背負い ながら 暮らす(私)  
おぶって暮らしました。

26 実際の儀式の場においても神への祈りの儀式と先祖供養は一連のものとして行われる。

27 ウカンウカン ukan'ukan「次々に」は辞書類には未見だが、当館データでは上田トシ、川上まつ子両氏は口承文芸中でこの言葉を使った例がいくつかある。原意はウカウ u-ka-un（お互い・の上・にある）か。

アマチヒ トウラノ

a=macihi turano

(私の)妻 と一緒に

妻と一緒に

キ コロ オカアン ラポッケ

ki kor oka=an rapokke

し ながら 暮らす(私) うちに

そうして暮らしているうちに

ネ アコロ… アレス ア アポホ カ

ne a=kor... a=resu a a=poho ka

あの(私)の (私)育て た (私の)息子 も

育てた息子も

イネアプ タ ヘトウク トウナシ ペ ネ クス

ineap ta hetuk tunas pe ne kusu

何とまあ 育つ 早い もの だ から

何とまあ、育つのが早いので

335 ナニ ヘトウク トウナシ カ タ

nani hetuk tunas ka ta

すぐ 育つ 早い 上 に

すぐ大きくなる上に

オラ アリキキ ワ ネプ… ワ… ペ ネ クス

ora arikiki wa nep... wa... pe ne kusu

そして 頑張っ て 何 して もの だ から

頑張る子なので

アポホ カラ ペ アエ ネ ヤ キ コロ

a=poho kar pe a=e ne ya ki kor

(私の)息子 作る もの (私)食べる で も し ながら

息子が作ったものを食べたりして暮らしました。

オラ ヤイカタ アナクネ

ora yaykata anakne

そして 自分 は

自分は

エキムネアン カ ソモ キ ノ

ekimne=an ka somo ki no

山獵に行く(私) も しない で

山獵に行くこともなく

340 チセ オツ タ アナン ワ イエトコイキ ネ ヤ

cise or\_ ta an=an wa ietokoyki ne ya

家 の所 に いる(私) して 準備をする で も

家にいて狩りの準備をしたり

アポホ コロ ワ イワク

a=poho kor wa iwak

(私の)息子 持つ て 帰る

息子がとって帰った

カムイ ネ ヤツカ ユク ネ ヤツカ

kamuy ne yakka yuk ne yakka

クマ で も シカ で も

クマやシカを

ネプ ネ ヤツカ アノミ ネ ヤ

nep ne yakka a=nomi ne ya

何 で も (私)祭る で も

祭ったり

ナ ネン ネン イキアン コロ

na nen nen iki=an kor

まだ いろいろ する(私) ながら

いろいろなことをしました。

- 345 アポホ アヤイモニコロ コロ アナン ヒ オラノ  
 a=poho a=yaymonikor kor an=an hi orano  
 (私の)息子 (私)忙しくし ながら 暮らす(私) 時 それから  
 私の息子が忙しく働くようになってからは
- ネプ アエシリキラプ カ  
 nep a=esirkirap ka  
 何 (私)苦勞すること も  
 何に困ることもなく
- アコン ルスイ カ ソモ キ コロ オカアン。  
 a=kor\_rusuy ka somo ki kor oka=an.  
 (私)持ち たい も しない で 暮らす(私)  
 何を欲しいと思うこともなく暮らしました。
- ラポッケ オラノ ネア ホシキ アコラ  
 rapokke orano nea hoski a=kor a  
 そのうちに こんど あの 先に (私)持っ た  
 そのうちに先に生まれた
- アミッポ ウタラ カ ルプネ トウナシパ プ ネ クス  
 a=mippo utar ka rupne tunaspa p ne kusu  
 (私の)孫 たち も 大きくなる 早い もの だ から  
 孫たちも大きくなるのが早く
- 350 ルプネパ ヒネ  
 rupnepa hine  
 大きくなる して  
 一人前になりました。
- ナニ ピリカ ニシパ オロ ワ  
 nani pirka nispa oro wa  
 すぐ いい 旦那さん の所 から  
 すぐに立派な男が
- マッカチ ネ ヤクン アコン ルスイ ヤクン  
 matkaci ne yakun a=kor\_rusuy yakun  
 娘 だっ たら (私)嫁に欲しい ならば  
 娘を嫁に欲しいと言うなら
- アコララ ヤク ピリカ ナ セコロ カ  
 a=korar yak pirka na sekor ka  
 (私)嫁にやれ ば いい よ と も  
 嫁にやったらいいとも
- カムイ イェ プ ネ ア イ クス  
 kamuy ye p ne a \_hi kusu  
 神 言う の だっ た ので  
 神様が言っていたので
- 355 ピリカ ニシパ オロワ アコン ルスイ コロ  
 pirka nispa orowa a=kor\_rusuy kor  
 いい 旦那さん から (私)嫁に欲しい と  
 立派な男から嫁に欲しいと望まれ
- エウン アコレ イ オラ  
 eun a=kore \_hi ora  
 そこへ (私)嫁がせる こと そして  
 そこへ
- ピリカ ニシパ オロワ マテトウンアン ワ  
 pirka nispa orowa matetun=an wa  
 いい 旦那さん から 嫁にもらわれる(私) して  
 嫁にやりました。
- アミッポホ ネ ヤッカ  
 a=mippoho ne yakka  
 (私の)孫 で も  
 孫や

ア… マツ カ トウラノ オカアン ワ  
 a=... mat ka turano oka=an wa  
 (私) 妻 も 一緒に 暮らす(私) して

妻と一緒に暮らしました。

360 オラノ アコタヌ カ モヨ<sup>28</sup> プ ネ ア コロカ  
 orano a=kotanu ka moyo p ne a korka  
 そして (私の)村 も 人が少ないものだった けれど

私の村は小さい村でしたが

アミツポホ ウタラ ウカンウカン  
 a=mippoho utar ukan'ukan  
 (私の)孫 たち 次々に

孫たちが次々に

ルプネパ プ ネ クス ナニ オポキン  
 rupnepa p ne kusu nani opokin  
 大きくなる ものだ から すぐ 次々に

大きくなったので

マテトウンパ ネ ヤ ホクコロパ ネ ヤ キ コロ  
 matetunpa ne ya hokukorpa ne ya ki kor  
 妻をもらう で も 夫を持つ で も し ながら

妻や夫をもって

アシソウンテパ<sup>29</sup> ワ ネ ワ ポヘネ  
 a=sisountepa wa ne wa pohene  
 (私)家を持つ て そうして なおさら

所帯を持ち、なおさら

365 ネプ カ アコン ルスイ カ ソモ キ  
 nep ka a=kor\_rusuy ka somo ki  
 何 も (私)持ち たい も しない

何を欲しいとも思わずに暮らしました。

エネ ヘタブネ  
 ene hetapne  
 どのようにでも

このように

アエイコイトウパ ワ… イヨマプ ネ ア コロカ  
 a=eykoytupa wa... iyomap ne a korka  
 (私)うらやましく思っ て かわいがる だった けれど

ポ エイコイトウパ カ ソモ… ネ ア コロカ  
 po eykoytupa ka somo... ne a korka  
 子供 をうらやましく思い も しない だった けれど

子供をうらやましがっていたけれど

イヨマプ ヤイコトウヤシア コロ オカアン  
 iyomap yaykotuyasi=an kor oka=an  
 かわいがる で自分は安心だ(私) ながら 暮らす(私)

かわいがって満ち足りて暮らしました。

370 オラ サケ アコロ コロ ピシノ ピシノ  
 ora sake a=kor kor pisno pisno  
 そして 酒 (私)持つ と それ ぞれ

酒が手に入るとそのたびに

“リクンカント ウン カムイ エカシ  
 “rikunkanto un kamuy ekasi  
 天の国 にいる 神 おじいさん

「天の国にいる神のおじいさん

28 対義語はインネ inne「人が多い」。物語の終盤で人が少なかった村に徐々に人が増えて大きな村になるというのが幸せになるという表現のひとつとして語られる。

29 シソウンテパ si-so-un-te-pa(右・座・にいる・させる・[複])で「家の主人の座に座らされる」つまり「主となって家をかまえる」。

カムイチカプ エカシ アノミ ナ”  
**kamuycikap ekasi a=nomi na”**  
 フクロウ神 おじいさん (私)祭る よ

フクロウ神のおじいさんを祭ります」

セコロ ハウエアナン コロ カムイノミアン  
**sekor hawean=an kor kamuynomi=an**  
 と 言う(私) ながら 神に祈る(私)

と言って儀式をしました。

375 アイネ タネ… アナン ペ ネ イ クス  
**ayne tane… an=an pe ne \_hi kusu**  
 そして もう 暮らす(私)もの である ので

そうして暮らしていて

アポホ アナクネ オハ カ…<sup>30</sup> チカプ ネ クス  
**a=poho anakne oha ka… cikap ne kusu**  
 (私の)息子 は 同じ 鳥 である ので

息子は…鳥なので

カムイノミ カ イナウケ カ  
**kamuynomi ka inawke ka**  
 神への祈り も 木幣を削り も

神への祈りも木幣を削ることも

エアイカプ ナンコロ クス  
**eaykap nankor kusu**  
 できない だろう から

できないだろうから

アポホ オロワノ<sup>31</sup> エアシリ カムイノミ カ  
**a=poho orowano easir kamuynomi ka**  
 (人の)息子 それから 初めて 神への祈り も

孫の代から神への祈りもし

380 リクンカント ウン エカシ エウン  
**rikunkanto un ekasi eun**  
 天の国 にいる おじいさん へ

天にいるおじいさんへ

カムイノミ カ イナウ カ イクラパ クニ  
**kamuynomi ka inaw ka ikrapa kuni**  
 祈りの儀式 も 木幣 も 送る ように

儀式も、木幣を送ることも

アイカシパオツテ<sup>32</sup> コロ アナン ラポツケ  
**a=ikaspaotte kor an=an rapokke**  
 (私)命じ ながら 暮らす(私) うちに

教えていました。

タネ ヤイコトウヤシアン パクノ  
**tane yaykotuyasi=an pakno**  
 もう 自分は安心だ(私) まで

満足がいくまで

イヨマブ ネ ヤ  
**iyomap ne ya**  
 かわいがる で も

かわいがりました。

385 ピリカノ アポホ ネ ヤツカ  
**pirkano a=poho ne yakka**  
 よく (私の)息子 で も

息子や

30 オハ カムイ oha kamuy 「同じ神同士」の言いさしか。

31 文脈から考えると、息子の次の代、話者の孫の代から祈りの儀式をするようになったということか。

32 イカシパオツテ ikaspaotte は1項動詞。ここは本来はカシパオツテ kaspotte とするべきところ。

アマツネポ ウタラ ネ ヤツカ イピリカレス コロ  
 a=matnepo utar ne yakka i=pirkaresu kor 娘たちに養われて  
 (私の)娘 たち で も (私を)よく養う ながら

オカアン アイネ オンネアン<sup>33</sup> ペ ネ クス  
 oka=an ayne onne=an pe ne kusu 暮らしました。  
 暮らす(私) うちに 年を取る(私) もの だ から

オンネ エトク パクノ アミツポホ ウタラ  
 onne etok pakno a=mippoho utar いつまでも孫たちよ  
 死ぬ 先 まで (私の)孫 たち

イカン クナク  
 ikan kunak 決して

390 ネ リクンカント ウン カムイ エカシ ノミパ ヒ  
 ne rikunkanto un kamuy ekasi nomipa hi 天の国にいる神のおじいさんを祭ることを  
 その 天の国 にいる 神 おじいさん を祭る こと

イテキ オイラ ノ ネイ パクノ…  
 iteki oyra no ney pakno… 忘れずに  
 決して 忘れず に いつ までも

サスイシリ パクノ  
 sasuisir pakno 未代までも  
 未代 まで

カムイ オロワ アエコブンキネ ナンコン ナ  
 kamuy orwa a=e=kopunkine nankor\_ na 神から守られるようにしなさい  
 神 から (人がお前を)守る しなさい ね

セコロ イタクムイエアン コロ  
 sekor itakmuye=an kor と言い置いて  
 と 言い置く(私) ながら

395 オンネアン ペ ネ アクス  
 onne=an pe ne akusu 死んで行くので  
 死ぬ(私) もの であっ たところ

アイエ セコロ  
 a=ye sekor お話ししますと  
 (私)言う と

シネ イクレスイエ ニシパ  
 sine Ikuresuye nispa イクレスイエという旦那さんが  
 ある イクレスイエ さん

イソイタク セコン ネ ワ  
 isoytak sekor\_ ne wa 物語ったというのですよ。  
 物語る という こと だ よ

33 オンネ onne は「年を取る」「死ぬ」双方の意味で使われる。どちらの意味であるかは文脈で判断する。

アイヌ民族博物館 民話ライブラリ 2

## 上田トシの民話 2

---

発行日 2015年2月28日

編集・発行 一般財団法人 アイヌ民族博物館

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2-3-4

TEL 0144-82-4199 FAX 0144-82-6121

---

本書は平成26年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。